

多職種連携シートの お試し活用結果

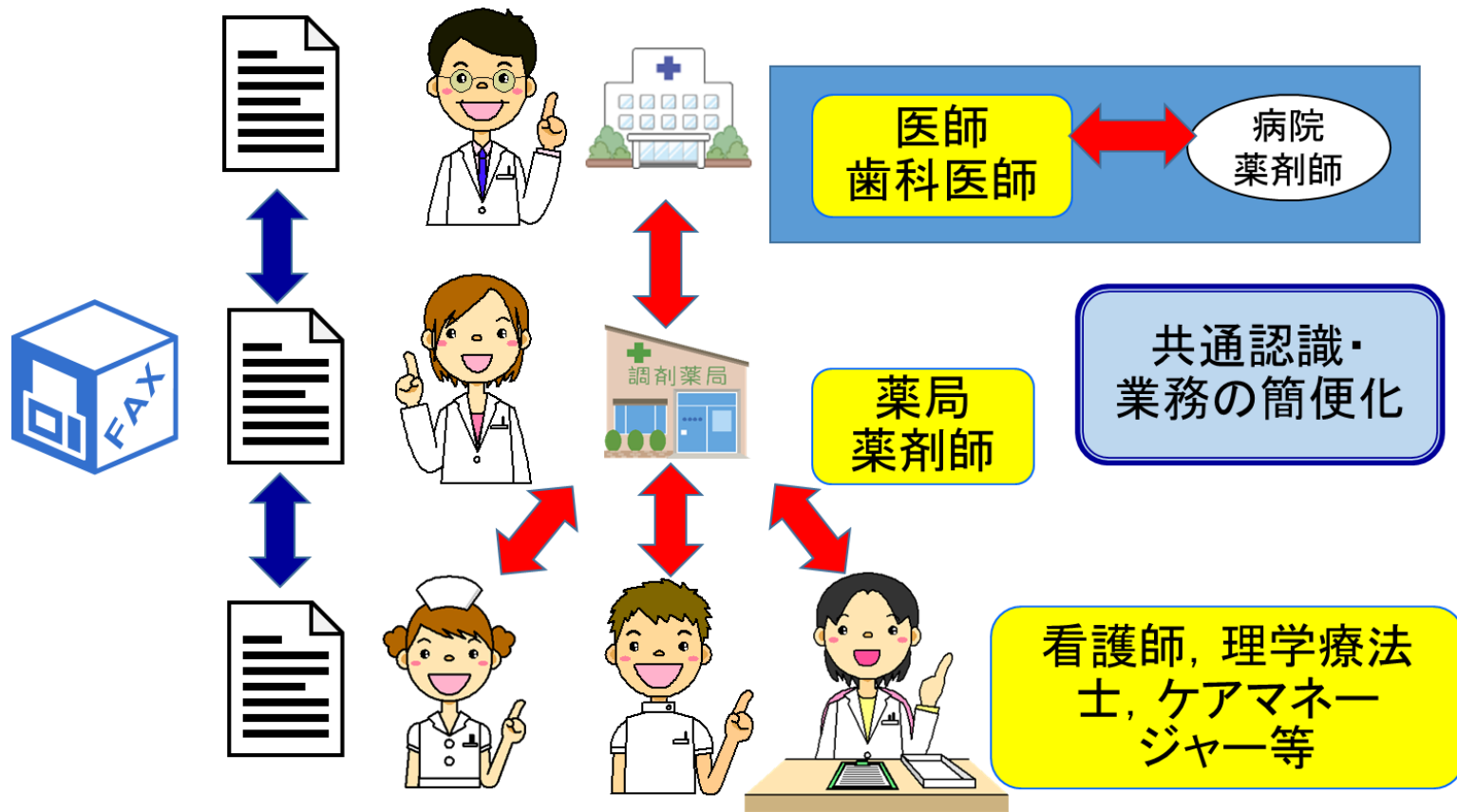
令和元年度 第3回 徳島県薬剤師・薬局機能強化
及び多職種連携対策協議会
令和2年3月19日 グランヴィリオホテル

多職種連携シート

病院・クリニック 御中 FAX: - -	
〇〇〇様 服薬情報提供書 多職種→保険薬局→(原会窓口)→主治医 保険薬局報告日: 年 月 日	
担当医	科 先生 御机下 保険薬局名 担当薬剤師名 所在地 TEL: FAX:
平素は、格別のご重配を賜り、厚く御礼申し上げます。 当該患者様の詳細を全て把握しておりませんが、多職種連携により、下記のとおり懸念点を把握し、薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考になれば幸いです。 また、必要時には下記項目につきご教示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。	
発信元: 医師	回答日: 年 月 日
当該患者さんの処方内容について ☐ 次回処方までに検討 ☐ 次回処方変更 { ☐ 変更不可 {	
発信元: 保険薬局 ② ↑ ↓ ③	
この情報を伝えることに対して患者の同意を ☐ 得た。 ☐ 得ていない。 ☐ 患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。 問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複数回答可) ← 左記選択肢の詳細 ☐ 他剤受診薬による重複投与による中止依頼 ☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案 ☐ 相互作用による他剤提案 ☐ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案 ☐ 服薬上の問題点による処方提案 (合剤・一剤化・粉砕・製剤懸濁・剤形変更) (服用方法簡便化・その他) ☐ 服薬回数などの処方提案 ☐ その他 (その他、薬物療養状況等特記すべき事項を含む)	
発信元: 多職種(医師・薬剤師以外) ① ↑ ↓ ④	
報告日: 年 月 日 患者名: 〇〇〇様 施設名: TEL: FAX: 職種: 報告内容(気になること) ☐ 患者からの訴え ☐ 家族からの情報 ☐ その他[報告者等が発見] →	
【注意】 FAXによる情報伝達は疑義照会ではないため、緊急性のある疑義照会とは通常通り電話にてお願いします。	

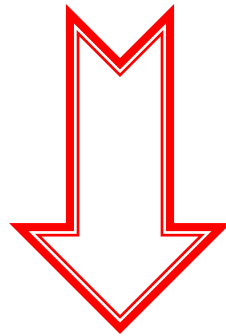
多職種連携シートのお試し活用

- 期間 令和2年1月～2月
- 対象 徳島市内を中心とした地域



多職種連携シートのお試し活用

- 期間 令和2年1月～2月
- 対象 徳島市内を中心とした地域



お試し活用実施後、薬局を対象にアンケートを実施

期間内に多職種連携シートを活用した

薬局(19件)から回答を得た

多職種連携シートのお試し活用の結果

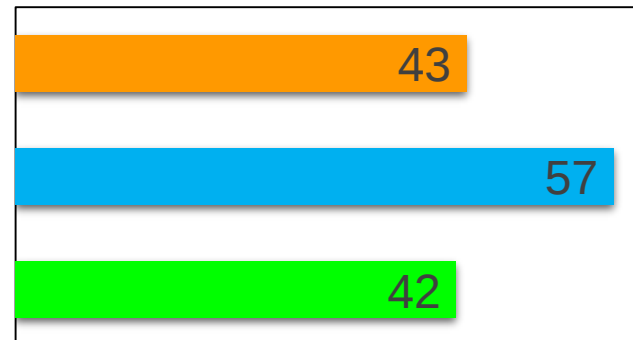
回答：
薬局（19件）

◆ 多職種連携シート送付件数

① 多職種 → 薬局

② 薬局 → 医師

③ 医師 → 薬局



病院・クリニック 御中 FAX: - -

様 服薬情報提供書

多職種→保険薬局→（照会窓口）→主治医
保険薬局報告日: 年 月 日

担当医 科 保険薬局名
先生 御机下 担当薬剤師名
所在地
TEL: FAX:

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当院患者様の詳細を全て把握しておりませんが、多職種連携により、下記のとおり懸念点を把握し、
薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考になれば幸いです。
また、必要時には下記項目につきご教示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

発信元: 医師 回答日: 年 月 日

当院患者様の処方内容について
☐ 次回処方までに検討
☐ 次回処方変更
☐ 変更不可

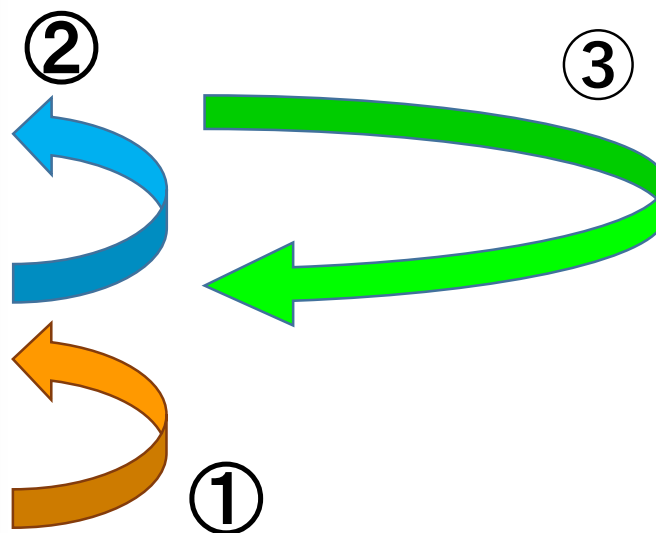
発信元: 保険薬局 ② ↓ ③

この情報を伝えることに対して患者の同意を
☐ 得た。 ☐ 得ていない。 ☐ 患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。
 問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複数回答可) ① ← 左記選択肢の詳細 (その他、薬剤師が状況等特記すべき事項を記入)
☐ 他科受診薬による重複投与による中止依頼
☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案
☐ 相互作用による他剤提案
☐ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案
☐ 服薬上の問題点による処方提案
☐ 合剤・一剤化・粉砕・製剤形態・剤形変更
☐ 服用方法簡便化・その他
☐ 服薬回数などの処方提案
☐ その他

発信元: 多職種 (医師・薬剤師以外) ① ↓ ④

報告日: 年 月 日 患者名: 様
施設名: TEL: FAX:
職種:
報告内容(要になること)
☐ 患者からの訴え
☐ 薬局からの情報
☐ その他[報告者等が発見] ()

【注意】 FAXによる情報伝達は匿名制ではないため、緊急性のある匿名制は通常通り電話にてお願いします。



多職種連携シートのお試し活用の結果

回答：
薬局（19件）

◆ 多職種連携シート送付件数

①多職種 → 薬局

43

②薬局 → 医師

57

③医師 → 薬局

42

◆ シートを送付した職種の内訳

医師

2

看護師

23

薬剤師

1

介護福祉士

5

介護支援専門員

4

訪問介護員

7

介護施設職員

1

◆ 多職種からの報告内容の内訳

患者からの訴え

23

家族からの情報

6

その他

（報告者が発見等）

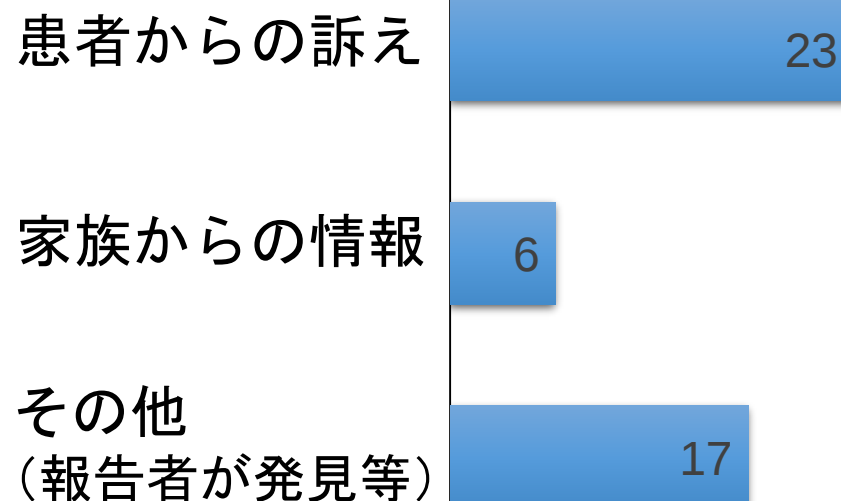
17

多職種連携シートのお試し活用の結果

◆ 多職種連携シート送付件数

<代表例>

- ・錠剤が小さい，ヒートから出しにくい，カプセルが転がる等で一包化してほしい。（手が不自由な方）
- ・嚥下が困難である。
- ・便が硬くて排便痛がある。
- ・咳がひどく，咳止めが欲しい。



多職種連携シートのお試し活用の結果

◆ 多職種連携シート送付件数

回答

<代表例>

- ・ 介護福祉士：薬によるものか不明だが、日中の傾眠、ふらつきが多くなった。
- ・ 介護福祉士：錠剤の飲み込みが悪くなった。
- ・ 訪問介護員：カプセルや錠剤が大きくて飲みにくい。
- ・ 看護師：徐脈が見られる。
- ・ 看護師：歩行障害が見られる。
- ・ 看護師：味覚異常が見られる。
- ・ 看護師：ラコールNF配合経腸用液服用中に下痢の症状が出た。
- ・ 介護支援専門員：夜中の咳がひどく、乾いた咳をしているようで、眠れていない。

介護支援専門員

4

訪問介護員

7

介護施設職員

1

その他
(報告者が発見等)

17

多職種連携シートのお試し活用の結果

回答：
薬局（19件）

◆ 多職種連携シート送付件数

①多職種 → 薬局

43

②薬局 → 医師

57

③医師 → 薬局

42

◆ 薬剤師からの提案事項の内訳

他科受診薬による重複投与による中止依頼

3

禁忌薬・慎重投与薬による処方提案

8

相互作用による他剤提案

1

薬物有害事象が疑われることによる処方提案

16

服薬上の問題点による処方提案

17

服薬回数などの処方提案

6

その他

8

多職種連携シートのお試し活用の結果

回答：
薬局（19件）

◆ 多職種連携シート送付件数

①多職種 → 薬局

43

②薬局 → 医師

57

③医師 → 薬局

42

◆ 医師の処方対応の内訳

次回処方までに検討

8

次回処方変更

32

変更不可

2

多職種連携シートの主な活用例

➤ ケース 1

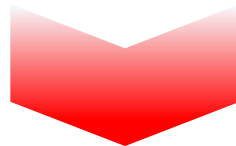
多職種（看護師）

ギャバロン10mg服用の患者で歩行障害が見られる。



薬剤師

Cre(血清クレアチニン)2.08であり，腎機能の低下が見られるため，ギャバロン10mgを5mgに減量を提案。



医師

ギャバロン10mgを中止し，早期に受診するよう指示。

多職種連携シートの主な活用例

➤ ケース 2

多職種（介護支援専門員）

患者が嚥下困難のため、簡易懸濁法が可能かどうか。



薬剤師

簡易懸濁法に不適と思われる薬剤がある。

- ・ オメプラゾール→腸溶錠のため
- ・ ミノドロン→懸濁により口腔内に刺激感



医師

簡易懸濁法不適の薬剤について処方変更。

- ・ オメプラゾール→ランソプラゾールOD
- ・ ミノドロン→リセドロンで様子を見る

多職種連携シートの主な活用例

➤ ケース 3

多職種（介護施設職員）

一包化した薬の配薬時間が複雑なため、服用時間を食事時間と関連づけて分包紙に印字してほしい。



薬剤師 分包紙に印字して対応。

➤ ケース 4

薬剤師

患者のコンプライアンス向上のため、他の薬と一包化できるように服用時点の変更を依頼。



医師 服用時点を変更。

多職種連携シート活用についての主な意見

＜様式について＞

- ✓ 宛先で「病院・クリニック」以外に診療所もあり，書きにくい。
- ✓ 科名がない場合がある。
- ✓ 薬局は，処方せんと同じ順番だと書きやすい。（保険薬局，所在地，TEL，FAX，担当薬剤師の順）

＜シートの活用について＞

- ✓ 緊急性のある疑義照会以外の活用で有効。
- ✓ 多職種の方々にもシートの必要性をご理解いただけるとやり取りがスムーズになる。
- ✓ 総合病院は，事前に診療科の理解を得ないと難しい。
- ✓ 詳しく患者情報を医師に伝えるには，記入欄が小さいため，電話での追加説明が必要になった。
- ✓ 多職種から薬局への情報提供は現在まれなので，このシートの活用が進み「多職種から薬局へ」が増えると，より患者さんのためになる医療が提供できそう。

多職種連携シートの様式修正

- 医療機関の名称・FAXの位置を変更
- 担当科を削除

- 薬局記入項目の順番を変更
(処方せんの記載順にあわせた)

- 「次回処方変更」を「処方変更」
(すぐに診察を受けるよう指示される場合があるため)

- 注意書きの文言を修正

____様 服薬情報提供書

多職種→保険薬局→(原会窓口)→主治医
保険薬局報告日: 年 月 日

保険医療機関の名称
保険医師名

先生 御机下

保険薬局名
所在地

TEL: 担当薬剤師名

FAX:

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当該患者様の詳細を全て把握しておりませんが、多職種連携により、下記のとおり問題を把握し、
薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考になれば幸いです。
また、必要時には下記項目につきご教示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

発信元: 医師 回答日: 年 月 日

当該患者さんの処方内容について

☐ 次回処方までに検討
☐ 処方変更
☐ 変更不可

発信元: 保険薬局

この情報を伝えることに對して患者の同意を
☐ 得た。 ☐ 得ていない。 ☐ 患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。

問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複数回答可) 左記選択肢の詳細
(その他、薬物療養状況等特記すべき事項を含む)

☐ 他科受診薬による重複投与による中止依頼
☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案
☐ 相互作用による他剤提案
☐ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案
☐ 服薬上の問題点による処方提案
〔合剤・一気化・粉砕・錠剤懸濁・剤形変更・
服用方法簡便化・その他〕
☐ 服薬回数などの処方提案
☐ その他

発信元: 多職種 (医師・薬剤師以外)

報告日: 年 月 日 患者名: _____様

施設名: _____ TEL: _____ FAX: _____

職歴:

報告内容(気になること)
☐ 患者からの訴え
☐ 家族からの情報
☐ その他【報告者等が発見】⇒ _____

【注意】緊急性のある内容の場合は、電話等の速やかに伝達できる方法で疑義照会して下さい。